

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6249 URL <http://www.gamecard-joyco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石橋 保彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀 幹千代 (TEL) 03-5214-4777  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,684	△14.0	979	△21.5	1,006	△20.0	616	△12.9
25年3月期第1四半期	10,101	4.1	1,247	△1.7	1,258	△3.0	708	△72.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 631百万円(△9.4%) 25年3月期第1四半期 696百万円(△73.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	43.23	—
25年3月期第1四半期	49.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	64,186	42,001	65.4
25年3月期	65,510	41,798	63.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 42,001百万円 25年3月期 41,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,600	△17.6	430	△83.9	400	△85.1	170	△89.4	11.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	14,263,000株	25年3月期	14,263,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	121株	25年3月期	121株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	14,262,879株	25年3月期1Q	14,262,893株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、昨年12月の政権交代後の経済政策及び日銀の大胆な金融緩和により株高・円安が進んだ事で、輸出企業を中心に景況感の改善が進み、景気回復への期待感が高まっております。一方で欧州や新興国に対する不安感はいまだ払拭されておらず、米国の景気回復の足取りが力強さを増したとはいえ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開しております遊技業界においては、好調を維持していたパチスロでも勢いが鈍化してきており、低玉貸し営業の定着による4円パチンコの不振と相まって、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況が続いております。また大型店の出店攻勢の一方、周辺小規模店の閉店という二極化も垣間見られます。

このような状況の中、パチンコホールは収益力・集客力の向上につながる投資に対しては積極的であり、収益力向上につながる「各台計数システム」の導入の動きは続いておりますが、コスト低減化への取り組みがより一層強化される中、競合各社による競争は更に熾烈なものになっております。

当社グループは、日本ゲームカード株式会社の主力商品であり、市場から高い評価を受けております「B∞LEX（ビーレックス）」及び昨年年末に発売した各台計数機能付き新メダル貸機「B∞LEX MCα（ビーレックス エムシー アルファ）」の販売が比較的堅調に推移したこと、また計画していた開発投資の一部が第2四半期以降にずれ込んだことにより、売上高、利益ともに計画に対しては上回ることとなりました。一方、前年同四半期比では、加盟店舗数・機器販売台数の減少、価格競争の激化による販売単価の減少により、売上高、利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,684百万円（前年同四半期比14.0%減）、営業利益は979百万円（同21.5%減）、経常利益は1,006百万円（同20.0%減）、四半期純利益は616百万円（同12.9%減）となりました。

販売品目別の業績概況は、次のとおりであります。

機器売上高は、4,697百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

カード収入高は、1,217百万円（同15.1%減）となりました。

システム使用料収入は、2,658百万円（同7.3%減）となりました。

その他の収入は、110百万円（同8.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は64,186百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,323百万円減少いたしました。

これは主に、有価証券が5,485百万円、発行保証金信託が1,413百万円増加した一方で、現金及び預金が4,440百万円、受取手形及び売掛金が1,054百万円、商品及び製品が309百万円、無形固定資産が291百万円、投資有価証券が1,959百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は22,184百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,527百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が348百万円、未払法人税等が623百万円、流動負債のその他（主に未払金）が606百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は42,001百万円となり、前連結会計年度末と比較し203百万円増加いたしました。

主な増加要因は、利益剰余金188百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における営業利益、経常利益及び四半期当期純利益が、通期の連結業績予想における営業利益、経常利益及び当期純利益をそれぞれ上回る結果となっておりますが、この主な要因は、当初、第1四半期連結累計期間での発生を予想していた研究開発費の一部が、第2四半期以降にずれ込んだことによるものであります。その差額相当分については今後発生する予定であるため、平成25年5月10日付「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,732	12,291
受取手形及び売掛金	4,462	3,407
営業未収入金	1,381	1,298
リース投資資産	8,025	8,123
有価証券	9,999	15,485
発行保証金信託	5,246	6,660
商品及び製品	3,669	3,360
原材料及び貯蔵品	851	735
その他	1,215	1,324
貸倒引当金	△16	△10
流動資産合計	51,567	52,676
固定資産		
有形固定資産	2,120	1,949
無形固定資産		
のれん	1,646	1,548
その他	1,862	1,669
無形固定資産合計	3,509	3,217
投資その他の資産		
その他	8,655	6,695
貸倒引当金	△342	△352
投資その他の資産合計	8,313	6,343
固定資産合計	13,942	11,510
資産合計	65,510	64,186
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,675	3,326
営業未払金	23	29
未払法人税等	1,026	402
引当金	293	380
カード未精算勘定	2,770	2,775
その他	5,394	4,916
流動負債合計	13,183	11,831
固定負債		
引当金	440	456
リース債務	6,804	6,644
その他	3,284	3,252
固定負債合計	10,528	10,352
負債合計	23,712	22,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	31,099	31,288
自己株式	△0	△0
株主資本合計	41,721	41,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	90
その他の包括利益累計額合計	76	90
純資産合計	41,798	42,001
負債純資産合計	65,510	64,186



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,101	8,684
売上原価	6,779	5,870
売上総利益	3,321	2,813
販売費及び一般管理費	2,074	1,834
営業利益	1,247	979
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	7	7
製品取替引当金戻入額	8	18
その他	25	22
営業外収益合計	54	62
営業外費用		
支払利息	25	19
支払保証料	12	12
その他	5	3
営業外費用合計	43	35
経常利益	1,258	1,006
税金等調整前四半期純利益	1,258	1,006
法人税等	550	390
少数株主損益調整前四半期純利益	708	616
四半期純利益	708	616

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	708	616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	14
その他の包括利益合計	△11	14
四半期包括利益	696	631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	696	631

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。